

☆*。。。*☆*。。。*☆*。。。*☆*。。。*☆*。。。*☆

◆ エース365 2011/03/07号 ◆

◆ ☆FXディーラー プレミアムレポート ☆ ◆

☆*:::;::;*★*:::;::;*☆*:::;::;*★*:::;::;*☆

■ *==*==*○ . . . * . : : , ○=*==*==* ■

『週間FX投資戦略』

グローバルインフォ代表取締役社長 和田 仁志

■ *==*==*:. . . . : *●*:. . . . : ○:. . . . : *●*:. . . . : ○:. =*==*==* ■

「トリシェはトリシェ」

先週は、ドル円は底堅い展開となりました。中東情勢が緊迫化するなか、「リビア軍が原油輸出ターミナルのあるリビア東部の町ブレガを空爆した」ことが報じられると、一時81.57円の安値まで値を下げる場面もみられましたが、トリシェECB総裁が定例理事会後の記者会見で「非常に警戒している」として、「来月の利上げを示唆」したことから、ユーロ円が急騰。ドル円は、82.53円まで買い上げられました。

週末には、2月米雇用統計を受けて一時83.09円まで買われましたが、米長期金利の低下を受けて一転下落。82円台前半まで下押しして引けています。ユーロドルは買われれる展開となりました。2月2日の高値1.3862ドルが目先の目処として意識されていましたが、トリシェECB総裁が来月の利上げを示唆したことなどを受けて一気に買いが強まる展開となり、一時1.4009ドルの高値まで値を上げています。

先週は、ひな祭りの3日にトリシェECB総裁が投げかけた言葉に、市場は慌てふためくことになりました。「非常に警戒している」(strong vigilance)との、彼の言葉としては最も強い表現に耳を疑った参加者も多かったはず。「トリシェコード」と呼ばれている文言が市場には存在していますが、その最上位に君臨する言葉が「strong vigilance」だったわけで、この言葉を聴いた市場は一気にユーロドルの買いに走りしました。

ECB定例理事会後の記者会見では、「インフレ見通しのリスクは上方にシフトした」とジャブを見舞ったのも束の間、いきなりトリシェコード最上位の文言を発言しました。おまけに、わざわざ「警戒とは来月金利が上昇する可能性があることを意味する」とコード読解の解説まで行っていて、なんとも市場を軽くあしらうと言うか、煮ても焼いても食えない、トリシェ総裁の本領発揮といったところです。

しかも、「必ずしも4月に利上げするとは限らないが」と付け加えるあたり、良くも悪くも、フランス流の歯に衣着せぬ発言が、この定例記者会見を米雇用統計と並ぶ、「出てみないとわからない、月一のビッグイベント」に格上げさせたわけで、総裁の後任が誰になろうとも、ちょっと真似の出来る技ではありません。

ウェーバー独連銀総裁が次期ECB総裁候補レースから離脱してからというもの、総裁レースは混迷の色を隠せませんが、今のところはドラギイタリア中銀総裁や、ノボトニーオーストリア中銀総裁、リーカネンフィンランド中銀総裁などの名前が拳がって来ています。

いずれもドイツ人ではないこともあって、市場では「結局ドイツとフランスとのたすきがけとなるのでは」との声も聞かれていて、実質的にはメルケル独首相とサルコジ仏大統領との協議の上で決定されることになりそうです。

ユーロドルは、総裁発言を受けて一気に1.3976ドルまで急騰しました。一番慌てなくてはならなかったのがオプションディーラーで、1.3900ドルと1.3950ドルに設定されていたノックアウトオプションが「半端ではないアマウントだった」だったことから、「数千本の買い」を余儀なくされました。

週末には一時1.4009ドルの高値まで上昇。再び市場は、「あまり良い思い出のない」1.40ドル台へ足を踏み入れようとしています。

週明けの東京市場では、ドル円は安値圏でもみ合いを続けています。先週末に非常に長い上ひげをつけてしまったこともあり、チャートの的にも悪いかたちとなっています。3月期末に向けたリパトリの売りも今週から本格的に出てくるものと予想されており、戻りを丁寧に売っていきたいところです。

上値では、一目均衡表雲の上限が位置する82.71円や、先週末高値の83.09円が目処として意識されています。下値では、先週末安値の82.21円がとりあえずの目処となっていますが、2日の安値81.57円や2月4日の安値81.10円がサポートレベルとして意識されています。いずれにしても、株式市場やWTI原油先物価格の動向などを睨みながらの展開となりそうです。

● 「ドル／円(USD/JPY) 日足チャート」。

↓↓↓↓↓

(URL) <http://www.acefx.jp/images/report/110307-1.gif>

□ ■

————— ↓↓↓ ログイン画面はこちら ↓↓↓ —————

<https://www.click365-system.com/acekoeki/PCUI/DAUTW000.do?DummyButton=Init>

..... ■ □

☆エース365/FXディーラープレミアムレポートご紹介ページ☆

http://www.fx-365.jp/premium_report/

【ご注意】

本相場見通しは、投資に関する断定的判断を提供、またその内容に関する責任の一切を負うものではありません。投資の最終判断はご自身でお願い致します。

※このメールは、エース取引株式会社からのお知らせをお送りすることにご了承いただいている方へお送りしています。

※メール配信の停止を希望される方はこちらから↓

<http://r26.smp.ne.jp/o/Pg/164805/FeFbbaH7ci0D/out?stop=lipkhi>

エース取引株式会社 FXオンライントレード部 エース365担当

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-29-24 エースファーストビル

フリーコール 0120-7464-90 TEL:03-5485-4494

FAX:03-5485-5081 mail: click-fx@acekoeki.co.jp

ホームページ <http://www.fx-365.jp/index.html>

大阪証券取引所 JASDAQ市場上場（銘柄コード：8749）

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第251号

（社）金融先物取引業協会会員

取引所為替証拠金取引「エース365」（以下、本サービスといいます）を提供する者の名称はエース取引株式会社（登録番号：関東財務局長（金商）第251号）で、（社）金融先物取引業協会に加入している金融商品取引業者です。

・本サービスの最低取引単位（1枚）は1万通貨または10万通貨単位（※1）です。売買手数料は、1枚当り片道税込210円～1,050円（日計り決済時105円～630円）、預託していただく証拠金の額は、1枚あたり取引金額（想定元本）の2%以上で、通貨ペアの種類により決まります。

・実際の取引金額は、証拠金の額に比して大きいため、少額の資金で大きなポジションを保有することが可能ですが、その損失の額が預託していただいた証拠金額を上回る可能性があります。

・証拠金に対する取引金額の比率は50倍以下です。また、日々の為替レートや証拠金額の変更等で異なります。

・ロスカットルールは、お客様の資産の損失拡大を防ぐためのルールですが、必ずしもお客様の損失を限定するものではありません。各国の政治、経済状況の変化及びそれに関連する金融市場の変化、金利相場、経済指標の数値の変動等により、急激な相場変動

が起こった場合、預託した証拠金の損失、若しくは預託した証拠金を上回る損失となる可能性があります。

- ・当社が提示する各通貨ペアには売付けと買付けに価格差があり、またスワップポイントには支払いと受け取りがあります。
- ・スワップポイントは、各国の信用状況や金利情勢等により日々変動し、取引対象である通貨の金利変動により受け取りから支払いに転じることがあります。
- ・本サービスは、お客様から預託を受けた証拠金が当社に滞留する場合には、お客様の資産を安全に確保するため、三井住友銀行の信託保全サービス「クリアリングトラスト」を実施しておりますが、法令上要求される区分管理必要額算出日と追加信託期限に時間差等があることから、いかなる状況でも必ずお客様からお預りした証拠金等が全額返還されることを保証するものではありません。

上記リスクは、本サービスにおける主なリスクについて記載したのですが、これがすべてとは限りません。

ご契約の際は契約締結前交付書面を十分に熟読の上、リスクや取引の仕組み等の内容をよくご理解いただき、ご自身の判断と責任のうえお申込みください。

(※1) ランド／円、香港ドル／円、スウェーデン・クローナ／円、ノルウェー・クローネ／円の取引単位は10万通貨、それ以外の通貨ペアは1万通貨単位です。

お客さまのご相談連絡先：当社本社内／コンプライアンス部（電話：03-5485-4161）、若しくは証券・金融商品あっせん相談センター（電話：0120-64-5005）にお願いいたします。

金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第251号
(社) 金融先物取引業協会会員 (会員番号1307)

取引所為替証拠金取引「エース365」は、エース取引株式会社の登録商標です。

・お客様の個人情報は、当社の個人情報保護ポリシーに基づき、適切に管理させていただきます。

個人情報保護ポリシー：<http://www.fx-365.jp/privacy.html>

・電子メールの特性上、送信過程で内容欠落、送信遅延、ウィルスの混入その他の不都合が生じることがございます。これらにつきましてエース取引株式会社は責を負いかねますのでご了承下さい。また、エース取引株式会社は本メールの送信を監視する権限を持っています。

・当社に関するお問い合わせは下記URLよりお願いします。

<http://www.acekoeki.co.jp/contact/>
